

CPコールサマリーログ

- マニュアルの変更履歴 (1ページ)
- 機能説明 (1ページ)
- 機能の仕組み (2ページ)
- CP でのコールサマリーログの設定 (10ページ)
- モニタリングおよびトラブルシューティング (12ページ)

マニュアルの変更履歴



(注) リリース 21.24 よりも前に導入された機能については、詳細な改訂履歴は示していません。

改訂の詳細	リリース
このリリースでは、新しい Sx に固有の情報が S-GW と P-GW のイベントレコードに追加されています。	21.24.1
初版	21.24 より前

機能説明

コールサマリーログは、セッション作成/削除、ベアラー作成/更新/削除などのサブスクライバアクティビティを外部サーバーに報告するために使用するメカニズムです。

コールサマリーログ機能が(SAEGW コールタイプに応じて S-GW および/または P-GW レコードが生成される)CUPS コントロールプレーン(CP)ノードで有効になっている場合は、イベントレコードを生成し、CSV ファイル形式でシャーシのハードディスクにレコードを保存します。ファイルは.gz 圧縮形式でも保存されます。これらのファイルは、ネットワークの維持とトラブルシューティングを目的としたネットワークオペレータによるさらなる分析のために、後で外部サーバーに SFTP で送信されます。

ここでは、CUPS CP ノードのコールサマリーログ機能について説明します。CUPS ユーザープレーン(UP)ノードのコールサマリーログ機能の詳細については、『UPC CUPS User Plane Administration Guide』を参照してください。

機能の仕組み

S-GW イベントレコード

S-GW イベントレポートは、セッション作成(PDN 接続)、セッション削除(PDN 切断)、ベアラー作成、ベアラー削除、ベアラー変更、ベアラー更新などのサブスクライバイベントを外部 SFTP サーバーに報告する機能です。

S-GW と SFTP サーバー間のインターフェイスは SFTP に基づいています。各レコードは、カンマ区切りのASCII値(CSV レコード)として生成されます。S-GW は、行ごとに1つのASCII 形式のCSV レコードを送信します。CSV レコードはファイルに保存され、外部 SFTP サーバーに送信する前に圧縮されます。15 分より古い CSV レコードは保存できないため、ファイルは少なくとも15 分に1回は外部 SFTP サーバーに SFT される必要があります。S-GW と SFTP サーバー間の CSV レコードファイルの転送は、PULL または PUSH モデルで実行されます。PULL モデルでは、外部 SFTP サーバーは S-GW を使用して SFTP を処理します。PUSH モデルの場合、S-GW は設定された PUSH タイマー間隔に基づいて外部 SFTP サーバーに CSV レコードファイルを送信します。

次のイベントでレコードがトリガーされます。

イベント	説明
1	セッションの作成
2	セッションの削除
3	ベアラーの作成
4	ベアラーの削除
5	ベアラーの変更(システム内ハンドオーバーの抑制)
6	ベアラーの更新

このレポートには、CSV形式の次の情報が含まれます。

番号	説明	書式例
1	イベントアイデンティティ	整数 [1-6]
2	イベント結果(3GPP 29.274 結果原因 コード)	整数 [1-255]
3	IMSI	整数 (15 桁)
4	IMEISV	整数(16 桁)

番号	説明	書式例	
5	コール ID	内部コール ID。例:[376efb10]	
6	開始時刻(GMT)	Time	
		MM/DD/YYYY-HH:MM:SS	
7	終了時刻(GMT)	Time	
		MM/DD/YYYY-HH:MM:SS	
8	プロトコル (GTPv2)	文字列	
		GTPv2	
9	Disconnect Reason	整数 [1-999]	
10	トリガーイベント(3GPP 29.274 要求 原因コード)	整数 [1-6]	
11	CP 名 (ホスト名)	文字列	
		cisco.mnc311.mcc480.3gppnetwork.org	
12	発信元ノードタイプ	文字列(SGW HSGW PGW)	
		SGW	
13	EPS ベアラー ID(デフォルト)	整数 [1-15]	
14	APN名	文字列	
		cisco.mnc311.mcc480.3gppnetwork.org	
15	PGW IP アドレス	IPv4またはIPv6アドレス	
16	UE IPv4 アドレス	IPv4 アドレス	
17	UE IPv6 アドレス	IPv6 アドレス	
18	アップリンク AMBR	整数 (0 ~ 40 億)	
19	ダウンリンク AMBR	整数 (0 ~ 40 億)	
20	TAI-MCC/MNC/TAC	文字列(MCC;MNC;TAC)	
		311;480;0x5802	
21	セルID (ECI)	文字列 (8 バイト)	
		0x158B33	
22	EPS ベアラー ID(専用)	整数 (1~15)	
23	結果コード(成功/失敗)	0=失敗、1=成功	
24	QCI	整数 [1-255]	

番号	説明	書式例
25	アップリンク MBR	整数 (0 ~ 40 億)
26	ダウンリンク MBR	整数 (0 ~ 40 億)
27	アップリンク GBR	整数 (0 ~ 40 億)
28	ダウンリンク GBR	整数 (0 ~ 40 億)
29	送信ダウンリンクパケット	整数 (0 ~ 40 億)
30	送信ダウンリンクバイト	整数 (0 ~ 40 億)
31	ドロップされたダウンリンクパケット	整数 (0 ~ 40 億)
32	送信アップリンクパケット	整数 (0 ~ 40 億)
33	送信アップリンクバイト	整数 (0 ~ 40 億)
34	ドロップされたアップリンクパケット	整数 (0 ~ 40 億)
35	MME S11 IP アドレス	IPv4またはIPv6アドレス
36	Slu IP アドレス	IPv4またはIPv6アドレス
37	ユーザープレーン IP アドレス	ユーザープレーンの IPv4 または IPv6 アドレスを含む
38	Sx-PFCP ローカル SEID	CP ノードの SEID を含む
39	Sx-PFCP リモート SEID	UP ノードの SEID を含む
40	Sx-PFCP 原因コード	PFCP 原因コードを含む
41	Sx-PFCP 応答時間	PFCP トランザクション応答時間を含む

P-GW イベントレコード

P-GW は、エラーまたは原因コードと遅延情報を含む、コールおよびイベントごとのコールサマリーレコードを生成します。

この機能は現在、次に示す 6 つの独立した GTPv2 手順の P-GW イベントレコードをサポートしています。

手順番号	手順名
1	GTP セッション作成
2	GTP ベアラー作成
3	GTP セッション削除
4	GTPベアラー削除
5	GTP ベアラー変更

手順番号	手順名
6	GTPベアラー更新
8 ∼ 16	Diameter の手順

このレポートには、CSV形式の次の情報が含まれます。

IE	説明	定義または形式の例	(上記の表の) 該 当する手順
1	PGW RTT レコード 番号	<pre><pre><pre><pre></pre></pre></pre><pre><pre><pre><pre><pre><pre><pre><</pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre>	すべて
2	PGW RTT バージョ ン番号	v18.0 のバージョン 1	すべて
3	手順番号	定義済みの表 1 (1 ~ 18)	すべて
4	PGW 名	シャーシのホスト名	すべて
5	手順開始時刻 (GMT)	UTC の時刻(ミリ秒の精度で表示)	すべて
6	手順終了時刻 (GMT)	UTC の時刻(ミリ秒の精度で表示)	すべて
7	ASR5K CallID	内部コール ID。例:[376efb10]	すべて
8 ~ 10	予約済み		
11	IMSI	例:[311480076488840]	1
12	[MSISDN]	例:[19728256305]	1, 5
13	IMEISV	例:[9900028823793406]	1, 11, 15
14	TAI: MCC/MNC/TAC	例:文字列 [311-480-0x3B00]	1 ~ 6
15	Cell ID	ECI。例:[0xE70D01]	1 ~ 6
16	ASR5K 切断理由	セッション切断の内部理由(タイムア ウト、エラーなど)。例:[0 to 533]	
$17 \sim 20$	予約済み		
21	サービス提供ネット ワーク	MCC MNC。例:[311480]	1, 5
22	無線アクセス技術	TS29.274 で定義。例:[6 = E-UTRAN]	1, 5
23	ハンドオーバーイン ジケータ	指示属性の HI フィールド、例:[0 = New PDN; 1 = Handover]	1, 5
24	SGW/HSGW TEID	ピアのトンネル識別子。例: [0x26B609F0]	1, 2, 5

IE	説明	定義または形式の例	(上記の表の) 該 当する手順
25	PGW TEID	PGW のトンネル識別子。例: 0x084BC005	1, 2
26	AN GW アドレス	リモート GW の IP アドレス: HSGW または SGW	1, 2, 5
27	アクセスポイント名	文字列型。例: [vzwims.mnc311.mcc480.3gppnetwork.org]	1
28	フレームIPアドレス	UE が割り当てた IPv4 アドレス	1
29	フレーム IPv6アドレス	UEが割り当てた IPv6プレフィックス/ アドレス	1
30	アップリンク AMBR	kbps 単位。例:[0-4294967295]	1, 6
31	ダウンリンク AMBR	kbps 単位。例:[0-4294967295]	1, 6
32	PCO DNS IPv6 アドレス:プライマリ	IPv6アドレス	1
33	PCO DNS IPv6 アドレス:セカンダリ	IPv6アドレス	1
34	PCO DNS IPv4 アドレス:プライマリ	IPv4 アドレス	1
35	PCO DNS IPv4 アド レス:セカンダリ	IPv4 アドレス	1
36	EPS ベアラー ID の リスト(成功)	各ベアラー ID は「 」で区切る必要が あります。 例:1 3 5	1, 2, 4, 5, 6
37	リンクされたベア ラー ID	例:[0-15]	2, 3, 4, 5
38	アップリンク MBR	kbps 単位。MBR 例: 1234 3456 567 各ベアラーのMBR は「 」で区切る必	1, 6
		要があります。IE 37 と同じ順序であり、その後に 44 が続きます。	
39	ダウンリンク MBR	IE 38 と同じ	1, 6
40	アップリンク GBR	IE 40 と同じ	1, 6
41	ダウンリンク GBR	IE 41 と同じ	1, 6
42	GTP 原因値	要求/承認/拒否の原因、例:[1-255]	1 ~ 6

IE	説明	定義または形式の例	(上記の表の) 該 当する手順
43	ピギーバック レコー ド インジケータ	ピギーバック メッセージ レコードの 明示的な表示、例: (0=no; 1=yes)	2、5
$44 \sim 50$	予約済み		
51	Diameter IE	認証セッションのセッションID、例:	7 ~ 18、24
	セッション ID	UTF8 文字列 [0006-diamproxy.WSBOMAGJPNC. S6b.vzims.com; 21604107; 449305093; 536f9359-503]	
52	認証アプリケーショ ン ID	例:[S6b = 16777999, Gx = 16777238, Gy = 4]	7 ∼ 18、24
53	PGW ホスト(発信 元ホスト)	PGW の FQDN、例: [0004-diamproxy. WSBOMAGJPNC. Gy.vzims. com]	7 ∼ 18、24
54	Diameter ピアアドレスレルム	3GPP AAA、PCRF OCS レルムの FQDN、例:[Customerims.com]	7~18, 24
55	宛先ピアホスト	3GPP AAA、PCRF、OCS ホストの FQDN、例:[njbbpcrf1a.vzims.com]	7 ∼ 18、24
56	CC 要求タイプ	例:列拳型 [1-3, for I, U, T]	11, 12, 13, 15, 16, 17
57	CC 要求番号	例:[0]	11, 12, 13, 15, 16, 17
58	結果コード	RFC3588 に基づく Diameter 結果コード、例:[2001]	7 ∼ 18、24
59	送信元状態 ID	例:[1366695723]	7 ∼ 18
60	サービスセレクション	承認用の APN 名を提供するために使用される AVP、例:[Customerinternet]	12 ~ 24
61	課金ゲートウェイ機 能ホスト	CGF の FQDN、例: [cgf1.NEE29.cisco.com]	5, 7
62	課金グループ ID	各ベアラーの課金 ID は「 」で区切られます。IE 37 と同じ順序であり、その後に 44 が続きます。	5, 7
63	サーバー名(CSCF アドレス)	IMS APN のみ、例: [pcscf1.CTX07.vzims.com]	7

Framed-IPv6-Pool IPv4 アドレスの割り当て元のプール 名、例: [int41] 7 名、例: [int61] 7 ~ 24 例 ※型 [1-3] 7 ~ 24 列 ※型 [1-3] 7 ~ 24 列 ※型 [0-1] 7 ~ 24 列 ※型 [0-1] 7 ~ 24 列 ※型 [0-1] 7 ~ 24 列 ※型 [1-8] 9 , 13 , 17 列 ※型 [1-8] 11 , 12 , 15 , 17	該
プール名、例: [ims61] 66 認証要求タイプ TS29.273 および29.212 に基づく。例: 7 ~ 24 列挙型 [1-3] 67 再認証要求タイプ TS29.273 および29.212 に基づく。例: 8、14、18 列挙型 [0-1] 68 Diameter の終了原因 TS29.273 および29.212 に基づく。例: 9、13、17 列挙型 [1-8] 69 QoS クラス識別子 QCI、例: [8] 11、12、15、70 IP-CAN タイプ 例: [5 = 3GPP-EPS] 11、12、14 71 イベントトリガー TS29.212、一連のパイプ区切りトリ ガーに基づく、例: [1 = QOS_CHANGE] 11、12 11 11、12 11、12 11、12 11、12 11、12 11、12 11、12 11、12 11 11、12 11 11、12 11 11、12 11 11、12 11 11、12 11 11 11、12 11 11 11 11 11 11 11	
73 課金ルール削除 削除された課金ルールの名前、例: 文 12 1.3]	
73 関金ルール削除 別学型 [0-1] 70 Diameter の終了原因 TS29.273 および29.212 に基づく。例: 9、13、17 70 IP-CAN タイプ QCI、例: [8] 11、12、15、11、12、14 71 イベントトリガー TS29.212、一連のパイプ区切りトリガー 11、12 72 イベントトリガー 関除された課金ルールの名前、例: 文 12	
別挙型 [1-8] 11、12、15、17 15、17 15、17 15、17 15、17 15、17 15、17 15、17 15、17 15、18 11、12、15、17 15、18 15 15 15 15 15 15 15	
70 IP-CAN タイプ 例: [5 = 3GPP-EPS] 11、12、14 71 イベントトリガー TS29.212、一連のパイプ区切りトリ ガーに基づく、例: [1 = QOS_CHANGE] 72 イベントトリガー 削除された課金ルールの名前、例:文 12	
71 イベントトリガー TS29.212、一連のパイプ区切りトリ ガーに基づく、例:[1 = QOS_CHANGE] 72 イベントトリガー 削除された課金ルールの名前、例:文 12	6
ガーに基づく、例:[1 = QOS_CHANGE] 72 イベントトリガー 73 課金ルール削除 削除された課金ルールの名前、例:文 12	
73 課金ルール削除 削除された課金ルールの名前、例:文 12	
字列 [RTRRule3300]	
74 課金ルールインス インストールされている課金ルールの 11 トール 名前、例:文字列 [RTRRule3300]	
75 複数サービスインジ TS32.299 に基づく、例:列挙型 [0-1] 15、16、17 ケータ	
76 Multiple Services Credit Control 評価グ ループ 評価グ	
77 Multiple Services CC 合計オクテット、例: [524288000] 15 サービスユニット	
78 予約済み	
79 予約済み	
80 予約済み	

IE	説明	定義または形式の例	(上記の表の) 該 当する手順
81 ~ 170	P-GW には適用されない		
171		ユーザープレーンの IPv4 または IPv6 アドレスを含む	1 ~ 6
172	Sx-PFCP ローカル SEID	CP ノードの SEID を含む	1 ~ 6
173	Sx-PFCP リモート SEID	UP ノードの SEID を含む	1 ~ 6
174	Sx-PFCP 原因コード	PFCP 原因コードを含む	1 ~ 6
175	Sx-PFCP 応答時間	PFCP トランザクション応答時間を含む	1 ~ 6

Sx 固有のフィールド

次に、CUPS の CP で S-GW および P-GW イベントレコードに追加される新しい Sx に固有の情報を示します。

番号	説明	定義	バイト
1	ユーザープレーン IP アドレス	ユーザープレーンの IPv4 または IPv6 アド レスを含む	7 ~ 55
2	Sx-PFCP ローカル SEID	CP ノードの SEID を含む	8
3	Sx-PFCP リモート SEID	UPノードの SEID を含む	8

番号	説明	定義	バイト
4	Sx-PFCP 原因コード	PFCP 原因コードを含む。これは、3GPP 仕様 29.244 セクション8.2.1 に準拠しています。	1 ~ 5
		複数の Sx トランザクションが関係しているため、1 つのイベントレコードに対応する複数の原因コードが存在する可能性があります。 そのため、これは「」で区切られた配列です。	
		例: 1 2 3	
5	Sx-PFCP 応答時間	Sx トランザクション 応答時間 (ミリ秒単 位) を含む。	4 ~ 20
		複数の Sx トランザク ションが関係している ため、1 つのイベント レコードに対応する複 数の応答時間が存在し ます。	
		そのため、これは「 」 で区切られた配列で す。	
		応答がタイムアウトし た場合は、-1を入力し ます。	

CP でのコールサマリーログの設定

次に、ファイルの作成、ローテーション、圧縮、SFTP PUSH のイベント レコード フレーム ワーク CLI 設定を示します。

configure

context context_name

```
session-event-module event_module_name
```

S-GW でのコールサマリーログの設定

S-GWイベントレポートを有効にするには、SGWサービスで「reporting-action」を設定します。

```
configure
  context context_name
    sgw-service service_name
    [ no | default ] reporting-action event-record
```

P-GW でのコールサマリーログの設定

end

P-GW イベントレポートを有効にするには、APN で「reporting-action」を設定します。

```
configure
  context context_name
     apn apn_name
     [ no | default ] reporting-action event-record
     end
```

CP でのコールサマリーログ設定の確認

この機能が有効になっているかどうかを確認するには、show configuration または show configuration またまた show configuration show configurati

```
config
  context context1
   apn apn1
   ...
   ...
   reporting-action event-record
```

この機能が無効になっているかどうかを確認するには、**show config verbose** CLI コマンドを使用します。イベントレコードのレポートが無効になっている場合のコマンドの出力例を次に示します。

```
config
  context context1
   apn apn1
```

...
...
no reporting-action event-record

モニタリングおよびトラブルシューティング

コマンドや出力の表示

ここでは、CSLをサポートするための show コマンドとその出力について説明します。

show session-event-module file-space-usage

show コマンドの出力には、Event-Service モジュールのファイル領域の使用状況情報が表示されます。

```
CDRMOD Instance Id: 2

Session-Event File Storage Limit : 33554432 bytes
Session-Event File Storage Usage : 33554431 bytes
Percentage of Session-Event file store usage : 100.000000
```

show session-event-module statistics

show コマンドの出力には、Event-Service モジュールのカウンタと統計が表示されます。

CDRMOD Instance Id: 2 Session-Event Specific Statistics: Session-Event files rotated: 0 Session-Event files rotated due to volume limit: 0 Session-Event files rotated due to time limit: Session-Event files rotated due to records limit: 0 Session-Event file rotation failures: Λ Session-Event files deleted: Session-Event records deleted: 0 Session-Event records received: 0 Current open Session-Event files: 0 Time of last Session-Event file deletion: Ω Session-Event Record Transfer Statistics: 0

```
Successful File Transfers
Failed File Transfers
                                                  0
Num of times PUSH initiated :
                                           Ω
Num of times PUSH Failed
Num of times PUSH cancelled
                                                    0
         due to HD failure :
Num of periodic PUSH
                                             0
Num of manual PUSH
Current status of PUSH
                                             Not Running
                                         N/A
Last completed PUSH time :
```

show event-record statistics pgw

イベントレコードの統計を表示します。次に出力例を示します。

Total number of event records: 130 GTPv2 event records: 30 CSR: 10 CBR: 20 DSR: 0 DBR: 0 MBR:0 UBR: 0 Diameter event records: 100 S6b Procedures: AAR: 10 RAR: 5 ASR: 5 STR: 5 Gx Procedures: CCR-U: 10 CCR-I: 10 CCR-T: 10 RAR: 5 Gy Procedures: CCR-I: 10 CCR-U: 10 CCR-T: 10 RAR: 10

コマンドや出力の表示

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。